

縄文のうつわ展

公募展

縄文のうつわ展

縄文の湧き上がる創造力に想いを馳せて

2017年9月22日(金)~10月2日(月)
茅野市美術館 常設展示室 9:00-19:00

縄文文化を築いた人々の心の在りようを生きし、その想いを未来に引き継ぎ、世界と手をつなぐ。縄文の湧き上がる創造力に想いを馳せた「うつわ」作品を公募・展示します。

「縄文のうつわ」
「現代の縄文食風景」
2017年10月8日(日)~22日(日)
茅野市玉川荒神の古民家

1 現代の縄文食が味わえる覚神の古民家
「縄文のうつわ」に合わせた覚神の料理「八ヶ岳豊穣プレート」を再現してみたい。
2017年10月8日(日) 9時~18時、10月15日(日) 11時~18時 ※開館15時 茅野市玉川荒神の古民家
<http://www.chinochiroimkan.jp/jomon/foodscape/>

2 社交場になる覚神の古民家
「縄文のうつわ」を展示します。ご自由にお立ち寄りください。
2017年10月8日(日)~22日(日) 11:00~18:00
<http://www.chinochiroimkan.jp/jomon/foodscape/>

縄文の湧き上がる創造力に想いを馳せた「うつわ」の公募展。生命の源〈食〉をキーワードとした「JOMONフードスケープ(食風景)」とのコラボレーションによる企画。陶芸作家の伊藤彰敏さん、漆芸作家の島立幸男さんを監修に作品を公募し、21点の出品がありました。入賞作品を選定し、茅野市美術館 常設展示室に展示後、JOMONフードスケープ会場の玉川荒神の古民家で展示。作品を「縄文のうつわ」として「現代の縄文食風景」の食のもてなしに使用しました。

作品公募 5月~9月18日(月・祝) ※搬入・審査日

会期 9月22日(金)~10月2日(月)
茅野市美術館 常設展示室
※10月1日(日) 表彰式

10月8日(日)~22日(日)
茅野市玉川荒神の古民家

現代の縄文食風景

10月8日~22日に玉川荒神の古民家で開催した、JOMONフードスケープ「現代の縄文食風景」に合わせて、期間中全作品を古民家に展示。作品のうち数点を現代の縄文食「八ヶ岳豊穣プレート」をつくりあげるうつわとして使用しました。



展示・表彰式

縄文をテーマにした「大皿」作品を5月から募集し、県内在住・出身者21名から出品がありました。9月18日に伊藤彰敏さん、島立幸男さん、辻野隆之茅野市美術館長による審査を行ない、入賞作品を選定。常設展示室に展示しました。10月1日の表彰式では、「縄文」から連想することやイメージ、八ヶ岳、森の精霊、風、宇宙.....などをモチーフとして制作された、それぞれの「縄文のうつわ」に関するエピソードなど、さまざまな感想をうかがえる機会となりました。

